

なぜ出雲から世界平和か

人類は、核拡散、温暖化、金融混乱、健康不安など地球規模の危機に直面し、「衰退か進化か」の分水嶺に立たされています。環境・健康という根源的問題に世界規模で取り組むためには、歴史の中で生まれた国家・民族間の怨念を昇華し、話し合いのできる強固な平和の基盤を創ることが必要です。北東アジアには二十世紀の戦争の残滓が色濃く残っており、今も負の遺産が再生産され続けています。この地に縁のある人々の見識に、人類の未来が懸かっているといっても過言ではありません。朝鮮半島の対岸に位置し、出雲大社のあるこの地には、特別な使命があるのではないのでしょうか。

立命館大学は戦後すぐに平和研究に取り組み、学内に世界で唯一の平和ミュージアムを創設され、世界の戦争と平和記念館世界大会を本年開催なされます。また在日朝鮮人の方々は、厳しい国際関係、国内世論の中で、寄付によりコミュニティーを創り上げてこられました。

平和ミュージアム館長で原子物理学者の安齋育郎博士と、「朝鮮時報」編集局元副局長の、康熙奉 朝鮮民主主義人民共和国歴史学博士をお招きし、これまでの経緯と現状、将来展望をお聞きし、出雲の役割を参加者の皆様とともに考える中から地域振興を図る座談会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

安齋育郎(あんざい いくろう)

1940年東京生まれ。東京大学工学部原子力工学科卒、大学院修士・博士課程で放射線健康管理学を専攻。工学博士。東京大学医学部放射線健康管理学教室助手などを経て、1986年立命館大学経済学部教授、1988年より同大学国際関係学部教授。国際平和センター長、国際平和ミュージアム館長。日本平和学会理事、日本学術会議平和問題研究連絡委員会委員、世界大会平和博物館ネットワーク国際調整委員、原水爆禁止世界大会起草委員長など要職を務める。



康熙奉(かん ふうぼん)

1950年大阪生まれ。1956年から東京で一貫して民族教育を受ける。朝鮮大学校政治経済学部卒業。朝鮮問題研究所研究員。在日本朝鮮社会学者協会会員、朝鮮新報社編集局「朝鮮時報」編集部副部長、在日本朝鮮社会学者協会研究部長、朝鮮新報社編集局編集部部长、朝鮮時報などを経て、1996年同編集局副局長、1994年朝鮮総合文化研究所 講座長。朝鮮大学校非常勤講師(政治学、情勢分析論、社会情報論、現代朝鮮論)、社会学者協会中央理事会理事。朝鮮民主主義人民共和国社会科学院兼任研究士。朝鮮民主主義人民共和国歴史学博士。



小松昭夫(こまつ あきお)

1944年島根県八雲村生まれ。1963年県立松江工業高校卒。農業機械メーカー研究所勤務を経て、1973年実弟と「小松産業」設立。85年にシートシャッター「門番」発表、全国シェアトップを維持する。91年ニュービジネス大賞受賞。92年に韓国・東友FAに「門番」製造技術を無償供与。同年集落排水計測、制御、監視システム「やくも水神」発表。94年HNS人間・自然科学研究所設立。シンポジウム開催と出版、中国、韓国、米国アリゾナ記念館等、数々の戦争記念館を訪問献花する中で、平和 環境 健康分野で構想を発表し続けている。孔子文化大学客員教授。



座談会 司会 小松昭夫(財)人間自然科学研究所 理事長

発言者 安齋育郎 立命館大学平和ミュージアム館長

康熙奉 朝鮮民主主義人民共和国歴史学博士

日時 3月28日(金) 午前 9:30 ~ 12:00

会場 小松電機産業 太陽ホール

松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク
JR松江駅より車で10分、乃木駅より徒歩で15分



参加費は無料です。聴講お申し込みの方は、次にご記入のうえ FAX頂きますようお願い致します。

| 氏名 | 住所 | 電話/ファックス番号 |
|----|----|------------|
| | | |
| | | |
| | | |

主催 財団法人人間自然科学研究所 後援 太陽の会 小松電機産業株式会社

お問い合わせ先 TEL050-3161-2485 FAX050-3161-3846 E-mail k_horie@komatsuelec.co.jp 担当堀江